

## 2011年中堅・中小企業における「帳票」の利用実態とユーザ評価

調査設計/分析/執筆: 岩上由高

ノークリサーチ (本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705 : 代表: 伊嶋謙二 TEL : 03-5244-6691 URL : <http://www.norkresearch.co.jp>) は2011年の国内中堅・中小市場における「帳票」の利用実態とユーザ評価に関する調査を実施し、その分析結果を発表した。  
本リリースは「2011年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」の「帳票」カテゴリに関する速報である。

**<「ライブラリ活用+スクラッチ開発」を上回る評価を得るためのパッケージ改善とASP/SaaS形態ならではの付加価値提供が今後の新たな攻めどころ>**

- シェア順位に変動はあるものの、上位4社の製品/サービスの顔ぶれは変わらず安定
- パッケージへの移行が進む一方、ASP/SaaS形態は独自の付加価値提供が必要となる
- 「ライブラリ活用+スクラッチ開発」の形態はパッケージやサービスが最も意識すべき競合

調査対象 : 日本全国の年商500億円未満の中堅・中小企業 (有効回答件数1400件) に属し、以下いずれかの権限を持つ社員  
「情報システムの導入や運用/管理の作業を担当している」  
「情報システムに関する製品/サービスの選定または決裁の権限を有している」

調査実施時期 : 2011年8月

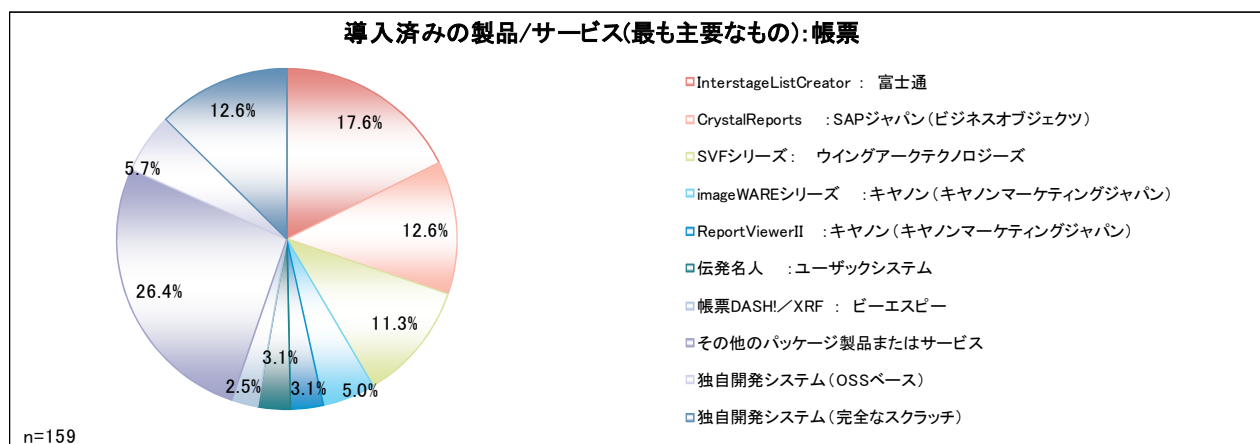
※調査対象の詳しい情報については右記URLを参照 [http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2011itapp\\_rep.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2011itapp_rep.pdf)

### シェア順位に変動はあるものの、上位4社の製品/サービスの顔ぶれは変わらず安定

以下グラフは年商500億円未満の国内中堅・中小企業全体における導入済の「帳票」製品/サービスの導入社数シェアを示したものである。※調査対象となった製品/サービスの一覧は末頁の「調査対象製品/サービス一覧」を参照

2010年のシェア上位は「Interstage List Creator」「imageWAREシリーズ」「Crystal Reports」の順であった。2011年は「Interstage List Creator」「Crystal Reports」「SVFシリーズ」の順となっている。

シェア順位には変動があったが、2010年には「SVFシリーズ」が四位、2011年には「imageWAREシリーズ」が四位であることを踏まえると、「Interstage List Creator」「Crystal Reports」「SVFシリーズ」「imageWAREシリーズ」の四つの製品/サービスが比較的高いシェアを保っている状態といえる。



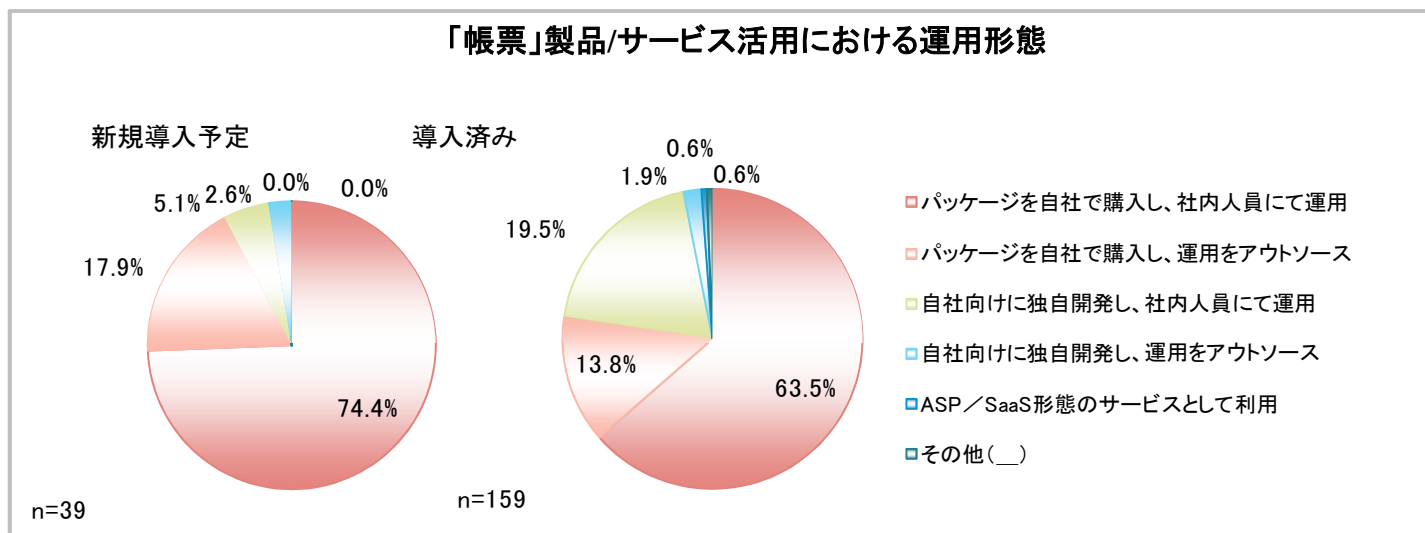
## パッケージへの移行が進む一方、ASP/SaaS形態は独自の付加価値提供が必要となる

以下のグラフは「帳票」製品/サービスの運用形態および端末形態について、導入済みと新規導入予定を比較したものである。(新規導入予定のサンプル数が少ない点に注意が必要)

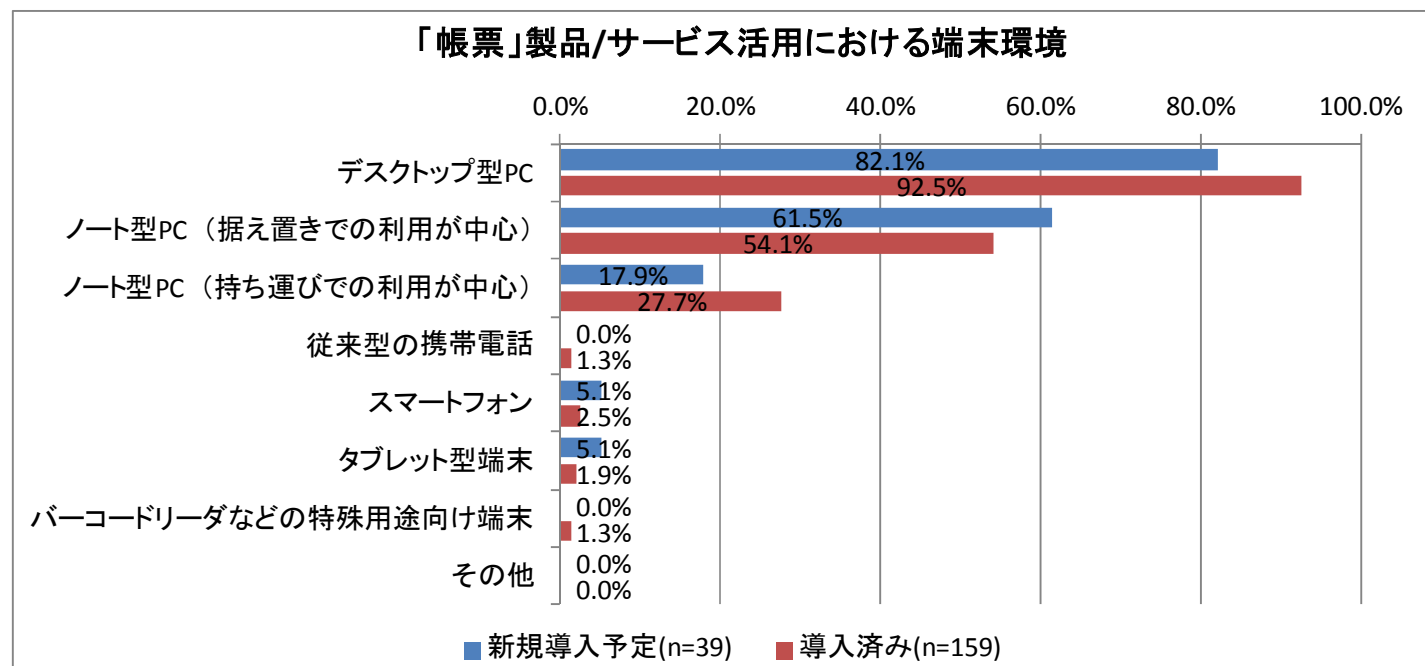
2010年と2011年の調査結果を比較すると、独自開発が大きく減少してパッケージの比率が高まっている。この傾向はさらに続いており、今回の調査では導入済みにおける独自開発の比率が21.4%であるのに対し、新規導入予定では7.7%とさらに大幅に減少している。このことから、帳票については今後もパッケージへの移行が比較的速いスピードで進む可能性がある。ASP/SaaS形態については、帳票出力の元になる業務システム側の普及が緩やかであることから、全体に占める割合がごくわずかという状況が依然として続いている。帳票データの低価格かつ安全な保存/管理など、ASP/SaaS形態ならではの付加価値を提供するなどの工夫が必要になってくる可能性もある。

スマートフォンやタブレット端末の利用については新規導入予定においても5.1%とそれほど高い数値ではない。高度な帳票機能を必要とするモバイル端末活用は「不在が多い経営層向けに会社の業績情報を報告する」など、利用シナリオがまだ限られていることが一つの要因と考えられる。また、タブレット端末が業務システムの利用においてノートPCの代替となるかどうかはタブレット端末における帳票利用普及の一つの判断材料になると予想される。

「帳票」製品/サービス活用における運用形態



「帳票」製品/サービス活用における端末環境



**「ライブラリ活用+スクラッチ開発」の形態はパッケージやサービスが最も意識すべき競合**

本調査では

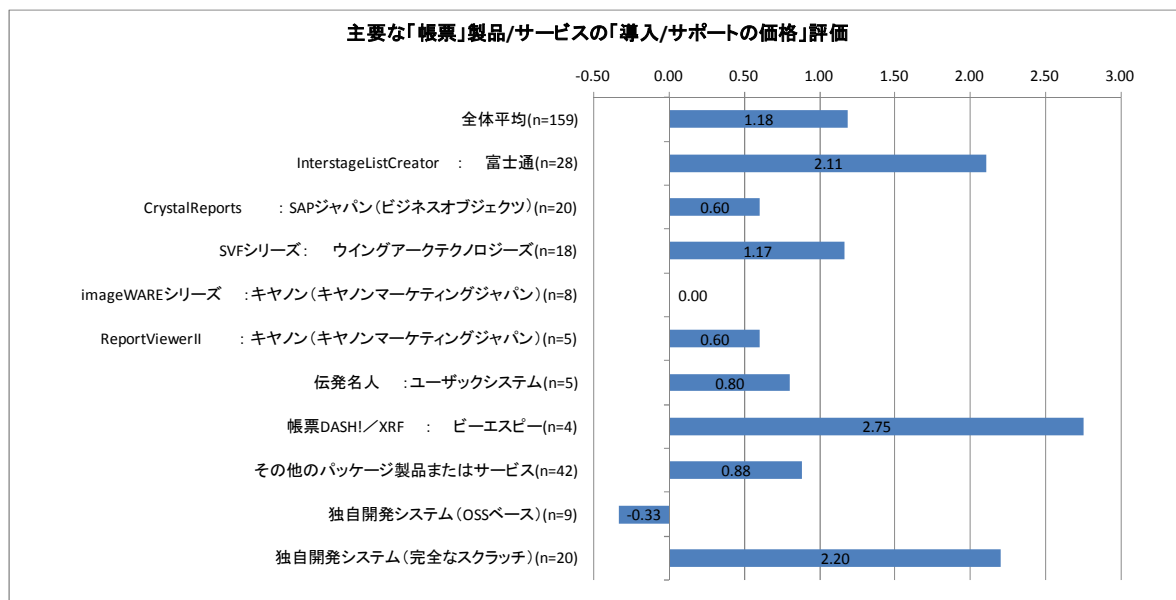
- 「導入/サポートの価格は妥当か」
- 「機能が足りているか」
- 「動作が軽快かどうか」
- 「自社の要件に合致しているか」
- 「初めてのユーザもすぐに操作を習得できるか」
- 「慣れたユーザにとって操作が煩わしくないか」
- 「他システムとの連携手段が整っているか」
- 「不具合や誤動作はないか」
- 「プログラミングによる機能の追加/変更（カスタマイズ）がしやすいか」
- 「設定変更などプログラミングを伴わない形での機能の追加/変更がしやすいか」

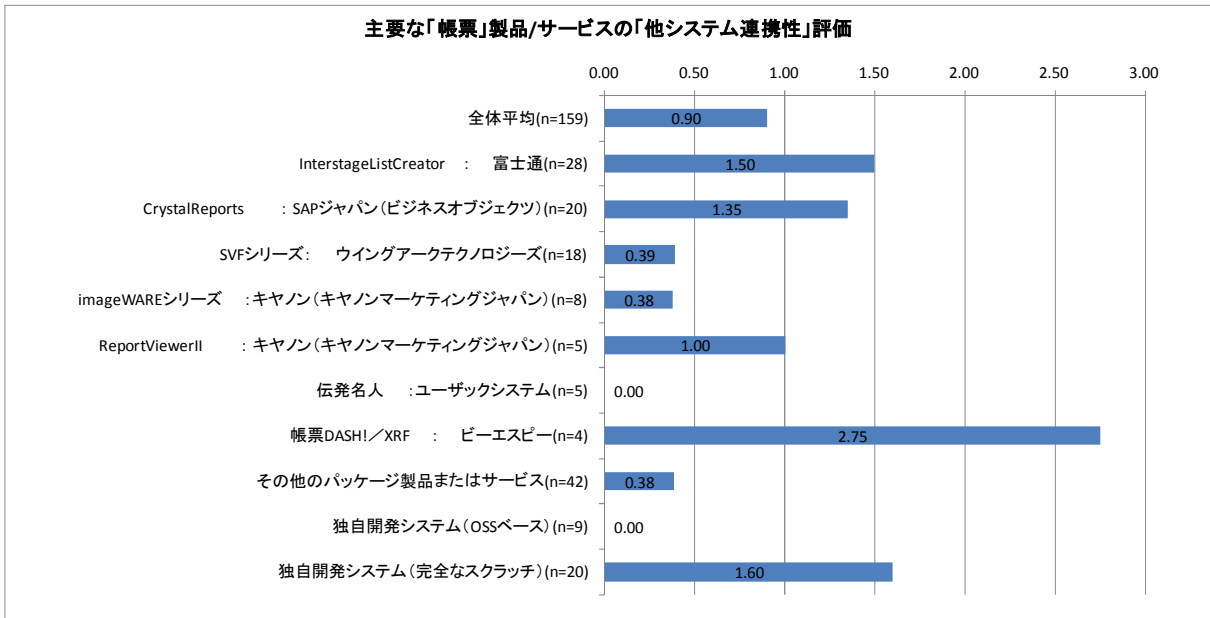
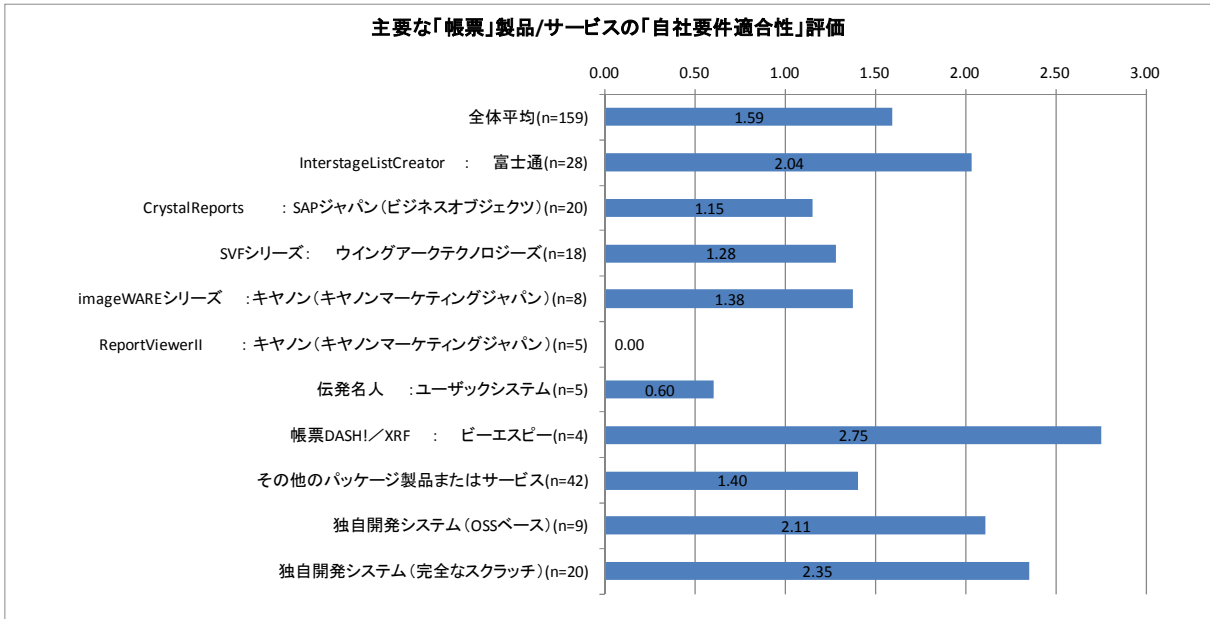
といった数多くの項目について五段階評価で製品/サービス別にユーザ企業による評価を行っている。

以下から次頁にかけてのグラフはそのうちの「導入/サポートの価格は妥当か」「自社の要件に合致しているか」「他システムとの連携手段が整っているか」についてのシェア上位の製品/サービスにおける評価結果である。  
※評価ポイントの算出方法は次頁末尾を参照

独自開発からパッケージへの遷移が進んでいるものの、いずれの評価項目においても完全なスクラッチによる独自開発システムが各製品/サービスと同等ないしはそれ以上の評価を得ている。帳票機能をゼロから作り込むことは難しいため、開発開発プラットフォームやフレームワークに備わるライブラリを利用しているケースが大半と推測されるが、ユーザ企業のニーズに必要十分な形で応える手段としてはこうした「ライブラリ活用+スクラッチ開発」も販社/Sierfにとっては有効な選択肢の一つとなっている可能性が高い。

ベンダとしては独自開発システムを明示的な競合と位置付け、ユーザ企業のニーズを把握することがシェア拡大において極めて重要と考えられる。





### 【評価ポイント算出方法】

五段階評価結果を「大変不満：-5ポイント」「多少不満：-3ポイント」「どちらでもない:0ポイント」「まあまあ満足:3ポイント」「大変満足：5ポイント」と重み付けし、ある評価項目「項目a」について、「A社の「大変不満」という回答件数 = H1」「A社の「多少不満」という回答件数 = H2」「A社の「どちらでもない」という回答件数 = H3」「A社の「まあまあ満足」という回答件数 = H4」「A社の「大変満足」という回答件数 = H5」と定義した場合に、以下の計算式によって算出している。

A社の項目 a に関する評価ポイント

$$= (H1 \times (-5) + H2 \times (-3) + H3 \times 0 + H4 \times 3 + H5 \times 5) \div \text{A社の項目aに関する回答件数合計}$$

(各製品/サービスの利用件数自体が少ない場合には、その点に留意が必要である)

## 調査対象製品/サービス一覧

今回の調査対象として導入シェアや評価における選択肢として挙げた製品/サービスは以下の通りである。

Crystal Reports	SAPジャパン(ビジネスオブジェクト)
SVFシリーズ	ウイングアークテクノロジーズ
biz Stream	ブレインセラーズドットコム
OPRO Xシリーズ	日本オプロ
imageWAREシリーズ	キヤノン(キヤノンマーケティングジャパン)
Report Viewer II	キヤノン(キヤノンマーケティングジャパン)
Interstage List Creator	富士通
RepoAgent	富士通北陸システムズ
BIP10	PFU
FiBridge II	JFEシステムズ
快速サーチャー	インテック
Report Mission	日立ソフトウェアエンジニアリング
NEOSS	インフォコム
Create! Form	インフォテック・アーキテック
シーオーリポーツ	電腦販売
PrintProシリーズ	JBAT
伝発名人	ユーザックシステム
PrintStream Core Suite	アクシスソフト
帳票DASH! / XRF	ビーエスピー
伝助	ヘキサード
上記以外のパッケージ製品またはサービス	
独自開発システム(オープンソースをベースとしたもの)	
独自開発システム(ベースとなるものがない完全なスクラッチ開発)	

本調査では帳票を「業務システム内のデータを整形して出力するアプリケーション」と定義している。ただし、リッチクライアント開発基盤などといった高度な画面表示や操作性を実現することを目的とした開発ツールに包含される帳票作成ライブラリは含まれない。

本リリースの元となっている「2011年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」の詳細は下記URLを参照  
[http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2011itapp\\_rep.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2011itapp_rep.pdf)

本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。  
 引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高  
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705  
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692  
[inform@norkresearch.co.jp](mailto:inform@norkresearch.co.jp)  
[www.norkresearch.co.jp](http://www.norkresearch.co.jp)

**NORKRESEARCH**